

42 問 題 用 紙

【試験の注意事項】

1. 問題用紙は、開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 答案用紙と問題用紙は別になっています。解答は答案用紙(マークシート)に記入して下さい。
3. 試験会場から退場するとき、問題用紙は持ち帰って下さい。

【答案用紙(マークシート)記入上の注意事項】

1. 「受験地」, 「回数」, 「番号」の欄は、受験票の数字を正確に記入するとともに、該当する数字の○を黒く塗りつぶして下さい。
2. 「生年月日」の欄は、元号は漢字を、年月日はアラビア数字を(1桁の場合は前にゼロを入れて、例えば1年2月8日は、0 1 0 2 0 8)正確に記入するとともに、該当する数字の○を黒く塗りつぶして下さい。
3. 「氏名(フリガナ)」の欄は、漢字は楷書で、フリガナはカタカナで、正確かつ明瞭に記入して下さい。
4. 「性別」, 「修了した養成施設等」の欄は、該当する数字の○を黒く塗りつぶして下さい。
ただし、「① 一種養成施設」は、自動車整備専門学校、職業能力開発校(職業訓練校)及び高等学校等で今回受験する試験と同じ種類の自動車整備士の養成課程を修了して2年以内の者。
「② 二種養成施設」は、自動車整備振興会・自動車整備技術講習所において今回受験する試験と同じ種類の自動車整備士の講習を修了して2年以内の者。
「③ その他」は、前記①, ②以外の者、または、実技試験免除期間(卒業又は修了後2年間)を過ぎた者。
5. 解答欄の記入方法
 - (1) 解答は、問題の指示するところから、4つの選択肢の中から**最も適切なもの、又は最も不適切なもの等を1つ**選んで、解答欄の1～4の数字の下の○を黒く塗りつぶして下さい。
2つ以上マークするとその問題は不正解となります。
 - (2) 所定欄以外には、マークしたり記入したりしてはいけません。
 - (3) マークは、HBの鉛筆を使用し、黒く塗りつぶして下さい。ボールペン等は使用してはいけません。
良い例 ● 悪い例 ○ ⊗ ⊙ ⊖ ●(薄い)
 - (4) 訂正する場合は、プラスチック消しゴムできれいに消して下さい。
 - (5) 答案用紙を汚したり、曲げたり、折ったりしないで下さい。

【不正行為等について】

1. 携帯電話等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいて下さい。試験時間中に試験会場内において、携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は、その理由にかかわらず、不正の行為があったものとみなすことがあります。
2. 試験会場の机の上には、筆記用具と卓上計算機以外のものを置いてはいけません。ただし、卓上計算機は、計算以外の機能をもったものを使ってはいけません。
3. 1., 2. で禁止されているような不正行為を行った者に対しては、試験監督者において、その者の試験を停止することがあります。1., 2. の例に当てはまらない場合であっても、試験監督者において、登録試験に関して何らかの不正の行為があると認めたときは、同様の措置を執ることがあります。
4. 試験会場において試験を停止され又は何らかの不正の行為を行った者については、その試験を無効とすることがあります。
この場合においては、その者に対し、3年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。
5. 試験後において、登録試験に関して何らかの不正の行為があったことが明らかになった場合にも、4.と同様に、その試験を無効とし、3年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。

〔No. 1〕 原子に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 中性の物質から電子が飛び出すと物質は(+)に帯電し、反対に電子が飛び込めば(-)に帯電する。
- (2) 原子のもつ電気は(+)と(-)が互いに打消しあってゼロとなり、電気的な性質を現さず中性の状態になっている。
- (3) 原子を構成している一番外側の軌道を回っている電子は軌道から離れて、他の原子の軌道へ移りやすく、このような電子を自由電子という。
- (4) 電子は(+)電気を、原子核は(-)電気をもっているが、原子のそれぞれの(+)と(-)の電気量は等しい。

〔No. 2〕 電気抵抗の固有抵抗(20℃)が一番大きい導体として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 鉄
- (2) 銀
- (3) ニクロム
- (4) アルミニウム

〔No. 3〕 電気抵抗に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 抵抗の温度係数は、温度が上昇したときに、抵抗の値が大きくなる割合を表す。
- (2) 電気抵抗は、導線の太さ(断面積)に反比例し、導線の材質によっても変化する。
- (3) 接触抵抗は、接触面積および圧力の増加とともに減少する。
- (4) 固有抵抗は、長さ1 m、断面積1 m²の導体の抵抗値を基準としており、単位には ρ (ロー)が用いられる。

〔No. 4〕 N型半導体に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

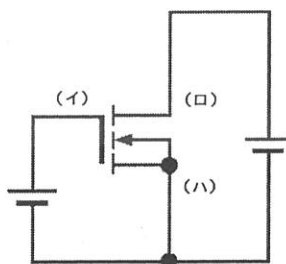
- (1) 精製したシリコンにインジウムを加えたものである。
- (2) 余った1個の弱い結晶状態の価電子は、わずかな外部エネルギーで自由電子となり、結晶中を動くことで導電性を高めている。
- (3) N型半導体を作るために用いる添加物をアクセプタという。
- (4) 共有結晶は、価電子が1個不足した状態である。

〔No. 5〕 半導体素子に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 発光ダイオード(LED)は、発熱がほとんど無く、所要電圧が低いので、電子回路の表示灯などに利用されている。
- (2) トランジスタの電流増幅率は、ベース電流をコレクタ電流で除して求める。
- (3) フォトダイオード(PD)は、光がPN接合近くに当たると、接合付近に発生した電子はN型に、正孔はP型にそれぞれ向かって移動するので、電流が流れる。
- (4) 一般に、バイポーラ型のトランジスタは、動作速度は速いが、消費電力が大きいという短所がある。

〔No. 6〕 図に示す電界効果トランジスタ(FET)回路において、(イ)から(ハ)の電極の名称に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。

- | | (イ) | (ロ) | (ハ) |
|-----|------|------|------|
| (1) | ソース | ドレイン | ゲート |
| (2) | ゲート | ドレイン | ソース |
| (3) | ゲート | ソース | ドレイン |
| (4) | ドレイン | ゲート | ソース |



〔No. 7〕 マイコンに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 10進数の「7」を2進数で表した場合、「110」となる。
- (2) AND回路は、全ての入力が「1」のとき、出力が「1」となる。
- (3) マイコンが扱う情報単位のうち1バイトとは、8ビットを一つにまとめた情報をいう。
- (4) NOR回路は、一つのNOT回路と一つのOR回路を組み合わせた回路である。

〔No. 8〕 スタータに用いられる直巻式モータに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 回転速度が低いときに大きなトルクを発生する。
- (2) 無負荷時(エンジン始動後)の高速回転を抑えるブレーキを備えたものがある。
- (3) アーマチュア電流が大きくなると、トルクは減少する。
- (4) フィールドコイルとアーマチュアコイルが直列に接続されている。

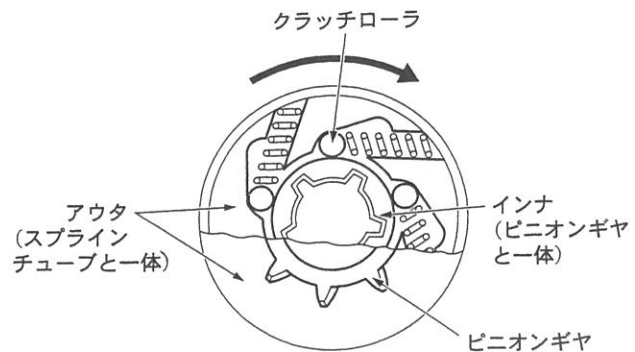
〔No. 9〕 図に示すピニオンシフト型スタータのオーバランニングクラッチの作動に関する次の文章の(イ)と(ロ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。

ただし、図のオーバランニングクラッチは、アウトとインナがロックの状態を示す。

エンジン始動後、ピニオンギヤがリングギヤによって回されると、インナの回転がアウトの回転より速くなり、クラッチローラはスプリングを(イ)する方向に移動する。

その結果、クラッチローラがアウト凹部とインナ隙間が(ロ)なった位置に移動し、インナとアウトがフリーになり、アーマチュアのオーバランを防ぐ。

- | | (イ) | (ロ) |
|-----|-----|-----|
| (1) | 伸 長 | 狭 く |
| (2) | 伸 長 | 広 く |
| (3) | 圧 縮 | 狭 く |
| (4) | 圧 縮 | 広 く |



〔No. 10〕 リダクション型スタータに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 一般的に、ピニオンシフト型スタータと比較して、アーマチュアは大型で、慣性力が大きい。
- (2) アーマチュアの回転速度を各ギヤで減速させ、ピニオンギヤの回転力を大きくしている。
- (3) 始動スイッチをOFFにすると、ピニオンギヤはリターンスプリングによって戻されるため、メイン接点が開いてアーマチュアへの電流を遮断する。
- (4) オーバランニングクラッチは、両端をベアリングで固定されており、マグネットスイッチのプランジャシャフトによりピニオンギヤを押し出しているものがある。

〔No. 11〕 スタータ本体の点検にメガテスタ(絶縁抵抗計)を用いる部位として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) ブラシとヨーク間の点検。
- (2) コンミテータの各セグメント間の点検。
- (3) セグメントの間にある絶縁体(マイカ)の点検。
- (4) コネクティングリードのターミナルと各ブラシ間の点検。

〔No. 12〕 プラネタリ型スタータに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) インターナルギヤは、通常は固定されている。
- (2) アーマチュアシャフトが1回転すると、プラネットキャリアシャフトは2回転する。
- (3) 小型の高速型モータを採用したスタータである。
- (4) アーマチュアシャフトが回転すると、遊星ギヤはサンギヤと同方向に公転する。

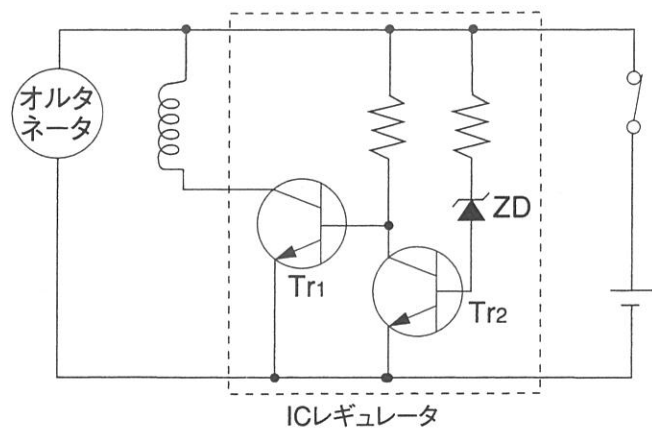
〔No. 13〕 オルタネータに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) ダブル励磁オルタネータは、1 台のオルタネータで多くの出力を必要とする観光バス等に使用され、1 個のフィールドコイルと 2 個のステータコイルからなっている。
- (2) SC オルタネータに使われている IC レギュレータは、ハイサイドにトランジスタを使用している。
- (3) ブラシレスオルタネータのロータは、ポールコアと励磁のコイルが別々になっている。
- (4) SC オルタネータは、セグメントコンダクタ(角形銅線)をステータコアに挿入し、接合することにより、出力性能及び効率がアップされている。

〔No. 14〕 図に示す充電装置の IC レギュレータ回路に関する次の文章の(イ)と(ロ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。

出力電圧が低い時は、ツェナダイオード(ZD)が(イ)ため、トランジスタ Tr_1 が(ロ)となり、フィールド電流を流して出力電圧を上げている。

- | (イ) | (ロ) |
|-----------|-----|
| (1) 導通する | ON |
| (2) 導通する | OFF |
| (3) 導通しない | ON |
| (4) 導通しない | OFF |



〔No. 15〕 オルタネータのステータコイル一相がショートしたときの B 端子(バッテリー端子)電圧のオシロスコープの波形として、適切なものは次のうちどれか。

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)

〔No. 16〕 オルタネータのダイオードを用いた整流に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 中性点ダイオードを用いたオルタネータのレクチファイヤは、8個のダイオードで構成されている。
- (2) レクチファイヤは、素子間の結線がターミナルインシュレータになっており、ドライブエンドフレームに組み付けられている。
- (3) 三相交流の正負の両波を整流して直流にする全波整流を行っている。
- (4) スタータコイルの各相、各線に流れる電流は、順に大きさと向きを変えるが、負荷側では常に一定方向に電流が流れる。

〔No. 17〕 点火装置に用いられるイグニッションコイル(同時着火コイルを除く。)に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 一次コイルは、ボビンに直径 0.04~0.1 mm の表面が被覆された銅線を 15,000~20,000 回巻いている。
- (2) 一次、二次コイルと鉄心は、樹脂のケースに収められ、ケース内の空間にはエポキシ樹脂を充填し、絶縁するとともに熱の伝導を良くしている。
- (3) 二次コイルは、ボビンに直径 0.3~1.2 mm の表面が被覆された銅線を 100~200 回重ねて巻いている。
- (4) 二次コイルの巻き始めと巻き終わりが、それぞれ高圧端子に接続されている。

〔No. 18〕 スパークプラグに要求される性能として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 熱伝導率が小さいこと。
- (2) 機械的強度が大きいこと。
- (3) 耐熱性が大きいこと。
- (4) 高温においても高い絶縁性を有すること。

〔No. 19〕 エンジン電子制御システムの燃料噴射量制御に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 減速時の燃料カットは、三元触媒の浄化を行い、理論空燃比へフィードバック制御する。
- (2) 始動後増量では、エンジン始動後に一定時間増量して始動直後のエンジン回転数を安定させる。
- (3) 加速増量では、加速時の応答性を向上させる。
- (4) 暖機増量では、冷間時のエンジン運転性確保のため水温が低いほど増量させる。

〔No. 20〕 エンジン電子制御システムの EGR (エキゾースト・ガス・リサキュレーション) 制御に関する次の文章の (イ) から (ハ) に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。

EGR 制御では、運転条件により排気ガスを吸入空気に混入させることで、吸入空気中の酸素濃度を (イ) 燃焼速度を (ロ) しており、これにより燃焼温度を (ハ) 排気ガスのクリーン化 (NO_x の低減) を促進している。

- | | (イ) | (ロ) | (ハ) |
|-----|-----|-----|-----|
| (1) | 上げて | 遅く | 上げて |
| (2) | 上げて | 速く | 下げて |
| (3) | 下げて | 遅く | 下げて |
| (4) | 下げて | 速く | 上げて |

〔No. 21〕 ジーゼルエンジンのグロープラグ方式の予熱装置に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 通常型のグロープラグは、急速予熱型グロープラグや自己温度制御型グロープラグに比べてグロー時間が長い。
- (2) グロープラグは、発熱体を金属シース(鞘)で保護したシース型とセラミックスで保護したセラミックス型に大別される。
- (3) 自己温度制御型のグロープラグは、発熱部の温度上昇でブレーキコイルの抵抗が増大することで電流を抑制し、プラグ自体に自己温度制御機能を持たせている。
- (4) 急速予熱型のグロープラグは、発熱部にラッシュコイルとブレーキコイルが用いられている。

〔No. 22〕 コモンレール式ディーゼル燃料噴射システムに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) EDU(エレクトロニック・ドライビング・ユニット)は、インジェクタの高速駆動(燃料噴射の ON/OFF)に対応するため、高電圧発生回路を備えている。
- (2) 燃料の噴射時期制御は、主にエンジン回転数や噴射量などから適切な噴射時期を算出し、インジェクタから噴射する燃料のタイミングを制御している。
- (3) 燃料の噴射圧制御は、主にエンジン回転数とアクセル開度からの信号を基にインジェクタ内部の電磁弁を制御して噴射圧を制御している。
- (4) サプライポンプは、燃料をフューエルタンクから吸い上げ、必要なコモンレール圧になるまで燃料を圧送している。

〔No. 23〕 鉛バッテリーに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) バッテリー放電時の化学変化は、正極活物質の二酸化鉛が硫酸鉛に変化し、負極活物質の海綿状鉛は硫酸鉛に変化する。
- (2) アンチモンバッテリーは、正極板と負極板とで異なる鉛合金の格子が使用されているバッテリーである。
- (3) 電解液は、正極板の二酸化鉛、負極板の海綿状鉛と反応して、流れ込んだ電気を蓄えたり、セル内部の電流の伝導を行う。
- (4) 電解液の比重を一定(1.280)とすると、電解液温度が高くなるほど起電力は大きくなる。

〔No. 24〕 鉛バッテリーの構造に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) バッテリー用希硫酸は、純度の低いものを用いると、正極板の腐食作用を早め、あるいは自己放電を大きくして寿命が短くなる。
- (2) くらは、極板群を支えるとともに極板から脱落した活物質の沈殿、堆積によるショートを防止する役目がある。
- (3) セル(単電池)は、1個の極板群より構成されたバッテリーで、その開路電圧は極板の大きさや枚数に関係なく2Vである。
- (4) 極板の格子は、外部と活物質の間の電気伝導の役目をはたすもので、機械的強度があり、硫酸に対する耐食性が小さく、かつ伝導性のよいことが必要である。

〔No. 25〕 電池工業会規格 SBA S 0101 : 2006 のアイドリングストップ車用鉛蓄電池の形式「Q - 55」の「Q」が表しているものとして、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 端子の位置
- (2) 性能ランク
- (3) 外形寸法区分
- (4) 5時間率容量

〔No. 26〕 鉛バッテリーの充電に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 準定電圧充電法は、充電初期には大きな充電電流が流れるが、充電の進行に伴うバッテリー端子電圧の上昇とともに充電電流が減少していく充電方法をいう。
- (2) 12V用バッテリーを2個同時に充電する場合は、24V用の充電器を用いて並列に接続する。
- (3) 完全に充電しても比重が1.240(20℃)以上に上昇しない場合は、極板のサルフェーションまたはショートが推定原因の一つとして考えられる。
- (4) 充電中に電解液温度が異常に上昇する場合は、一般に正極活物質の脱落が多いことによる極板底部および側部でのショートが推定原因の一つとして考えられる。

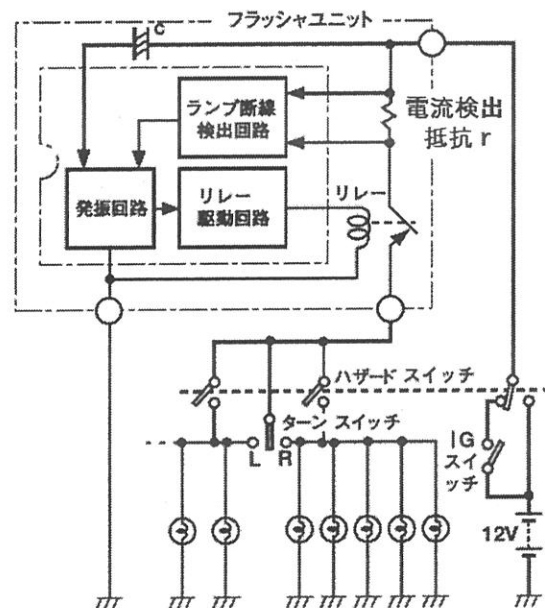
〔No. 27〕 電気装置や配線の保護に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) ヒューズリンクの溶断電流は、30 A、100 A またはそれ以上の値に設定されている。
- (2) ヒューズ(定格電圧 32 V 以下、定格電流 30 A 以下)は、その定格電流が 110% を超える電流が流れたとき、瞬時に溶断する。
- (3) サーキットブレーカは、電気回路に過大な電流が流れたときに可溶片が溶断する。
- (4) ヒューズの端子には、亜鉛合金のメッキが施されている。

〔No. 28〕 図に示す IC 式フラッシュ回路に関する次の文章の(イ)と(ロ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。

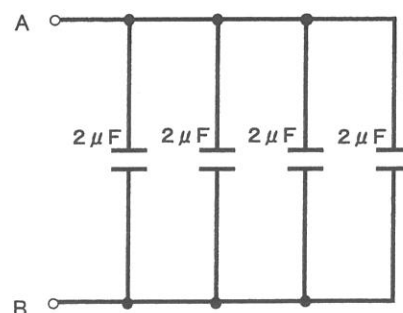
ランプが一灯断線すると、フラッシュユニット内の電流検出抵抗 r を通る電流が(イ)し、この電流の変化を r の両端で(ロ)に置き換えて、ランプ断線検出回路で検知している。

- | (イ) | (ロ) |
|--------|-----|
| (1) 減少 | 電圧 |
| (2) 減少 | 抵抗 |
| (3) 増加 | 電圧 |
| (4) 増加 | 抵抗 |

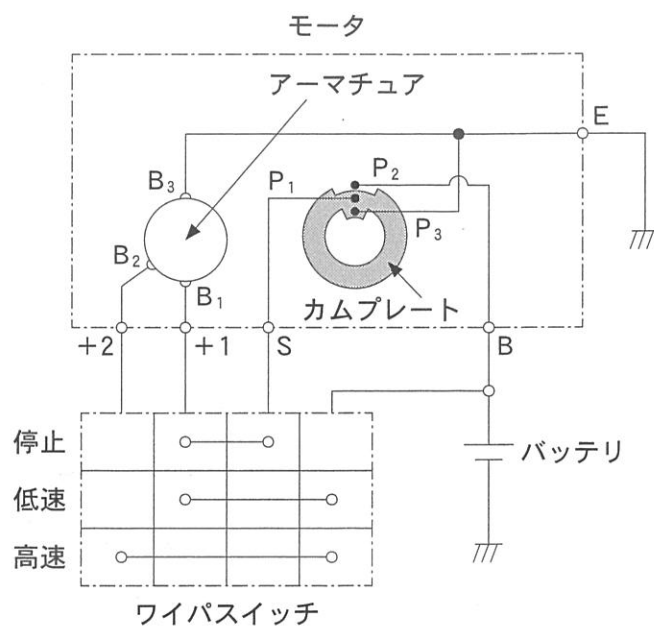


〔No. 29〕 図に示す電気回路の A—B 間の合成静電容量として、適切なものはどれか。ただし、配線等の抵抗はないものとする。

- (1) $0.5 \mu\text{F}$
- (2) $2 \mu\text{F}$
- (3) $4 \mu\text{F}$
- (4) $8 \mu\text{F}$



〔No. 30〕 図に示すフェライト式ワイパモータ回路において、ワイパスイッチを高速にセットしたときの電気が流れる順番として、適切なものは次のうちどれか。



- (1) バッテリ⊕ → + 2 端子 → B₂ → アーマチュア → B₃ → E 端子 → アース
- (2) バッテリ⊕ → B 端子 → P₂ → カムプレート → P₁ → S 端子 → + 1 端子 → B₁ → アーマチュア → B₃ → E 端子 → アース
- (3) バッテリ⊕ → + 1 端子 → B₁ → アーマチュア → B₃ → E 端子 → アース
- (4) バッテリ⊕ → B 端子 → P₂ → カムプレート → P₃ → E 端子 → アース

〔No. 31〕 保安装置のメータ(計器)に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) ウォータテンパラチャージに用いるサーミスタ(負特性)は、冷却水温の高いときは抵抗値が高く、冷却水温の低いときは抵抗値が低くなる特性をもっている。
- (2) オイルプレッシャインジケータは、油圧のない場合はプレッシャスイッチの接点は開き、油圧が規定値に達するとプレッシャスイッチの接点は閉じてインジケータは消灯する。
- (3) 交差コイルを用いているエンジンタコメータでは、回転子(マグネット)の外側に4つのコイルを60°ずらして巻いている。
- (4) 燃料残量警告灯には、サーミスタに流れる電流による自己発熱作用を利用してランプを点灯させているものがある。

〔No. 32〕 保安装置の磁気抵抗素子(MRE)式スピードセンサに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 磁気抵抗素子は、流れる電流の方向に対して、作用する磁力線の方向によって抵抗値が変化する性質をもっている。
- (2) S極とN極をそれぞれ4極有するマグネットリングの場合、マグネットリング1回転で2パルスの信号が出力される。
- (3) 磁気抵抗素子で発生した信号は、増幅器内のコンパレータ及びトランジスタにより、デジタル信号に変換される。
- (4) 磁気抵抗素子を内蔵したハイブリッドICとドライブギヤにより駆動されるマグネットリングで構成されている。

〔No. 33〕 エアコンディショナに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) サブクールサイクルでは、泡消え点が冷房能力安定域の手前にあるため、泡消え点で冷媒ガス充填を止めると冷房能力が不足気味になる。
- (2) レシーバ内部には、冷凍サイクル中のゴミや水分を取り除くためにストレーナと乾燥剤が封入されている。
- (3) 可変容量機構は、固定スクロールと可動スクロールによって仕切られる空間の容積が変化し、冷媒を吸入・圧縮する。
- (4) ドレインホースから車外に放出される水滴は、エバポレータフィンによって露点温度以下に冷却された空気中の水分が凝縮したものである。

〔No. 34〕 エアコンディショナのモード切り替え制御に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) サーミスタ式、EPR式、サーモスタット式の3通りがある。
- (2) 停車中でもエアコンを運転するときは、強制的にエンジンのアイドル回転速度を高くしてコンプレッサを運転する。
- (3) 外気導入と内気循環の切り替えダンパをコントロールする。
- (4) ブロワモータの回転速度を3～4段階に調節する。

〔No. 35〕 エアコンディショナの整備に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 冷媒の過充填は、低圧側と高圧側ともに圧力が高すぎる原因となる。
- (2) 真空引きの目的は、冷凍サイクル内の冷媒を完全に抜き取ることである。
- (3) エキスパンションバルブの開き過ぎは、低圧側の圧力が高すぎる原因となる。
- (4) 真空引きを10分行った後は、5分放置した後、冷媒充填前に気密チェックを行う。

〔No. 36〕 フルオロカーボン冷媒の回収容器(ボンベ)の高圧ガス保安法による規制に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 回収容器の検査有効期間を過ぎたものは、容器再検査を受けた後であれば冷媒の回収(充填)をすることができる。
- (2) 冷媒メーカーに所有権のある一般の流通容器を回収に使用してはならない。
- (3) 回収装置の専用容器が定められている場合は、専用容器以外は使用してはならない。
- (4) フルオロカーボン冷媒名の回収容器への表示は、黒色で容易に消えない方法での表示が必要である。

〔No. 37〕 冷媒ガスの回収容器(ボンベ)のバルブに関する次の文章の(イ)と(ロ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。

高圧ガス容器用バルブには、ガス充填口の形式が(イ)種類あり、フルオロカーボン冷媒用のバルブは(ロ)を使用している。

(イ) (ロ)

- (1) 2 A型(雄ネジ)
- (2) 2 B型(雌ネジ)
- (3) 3 A型(雄ネジ)
- (4) 3 B型(雌ネジ)

〔No. 38〕 「道路運送車両法」に照らし、自動車登録ファイルに登録を受けたものでなければ運行の用に供してはならない自動車として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 軽自動車
- (2) 小型特殊自動車
- (3) 二輪の小型自動車
- (4) 小型四輪自動車

〔No. 39〕 「道路運送車両法」及び「道路運送車両法施行規則」に照らし、自動車の分解整備に該当しないものは次のうちどれか。

- (1) 原動機を取り外して行う自動車の整備又は改造
- (2) 動力伝達装置のプロペラシャフトを取り外して行う自動車の整備又は改造
- (3) 制動装置のマスタ・シリンダを取り外して行う自動車の整備又は改造
- (4) 走行装置のストラットを取り外して行う自動車の整備又は改造

〔No. 40〕 「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、
最高速度が 100 km/h の小型四輪自動車の尾灯の基準に関する次の文章の（ ）に当てはまるものとして、適切なものはどれか。

尾灯は、夜間にその後方（ ）m の距離から点灯を確認できるものであり、かつ、その照射光線は、他の交通を妨げないものであること。

- (1) 100
- (2) 200
- (3) 300
- (4) 400